

なにやってんだよ!

ネットワーク管理者・池田の

第12回 年賀状メールには注意!

今年もあと1か月ほどで年末年始になる。クリスマス、正月休み、帰省といくつかイベントがあるが日本国内のインターネットでは年賀状メールの季節だ。

☞ 電子メールで年賀状を出したい

今年(1996年)の初め、一部でメールの到着が大きく遅れるなどの支障が出たのは記憶に新しい。これは、爆発的なインターネット人口の増加と、そのユーザーが送り出した大量の年賀状メールが直接の原因といわれている。

年賀状メールを出さなければこうした問題はもちろん起こらないが、使えるものを使わないテはない。また、年に一度しかないチャンスでもあり、やはり年賀状メールを出してみたいのが人情だろう。

もちろん、こうした需要を見越して、回線やサーバーの増強を図るのはプロバイダーの義務といえるが、数か月で倍になる現在の増加に過不足なく増強していくのは至難の技といえよう。

あと何年、何十年の後、ほとんどの人がインターネットをできるようになってしまえば、急激な需要増はなくなって需要の予測も立てられる。たとえば、実社会の郵便局では年末年始に多くのアルバイトを動員して、需要に問題なく応えられている。

☞ 混雑時はなるべく避けよう

インターネットを産業としてみた場合、成長の緒についたばかりで、こうした年1回の騒ぎはまだまた続くと予想される。たとえば帰省ラッシュで、年末年始の混雑は十分に予想される。混んでいるところ、混んでいる時間帯にわざわざ出かけていくと、我々が予想もできないほど時間がかかることがあり、ひどい場合にはその日のうちに目的地までたどり着けない場合があるかもしれない。

もし仕事の場合、あまりにメールが遅れるとそれなりの損害となるため、確実とはいえそうもないこの時期はなるべく避けたほうが賢明といえよう。君子危うきに近よらずだ。

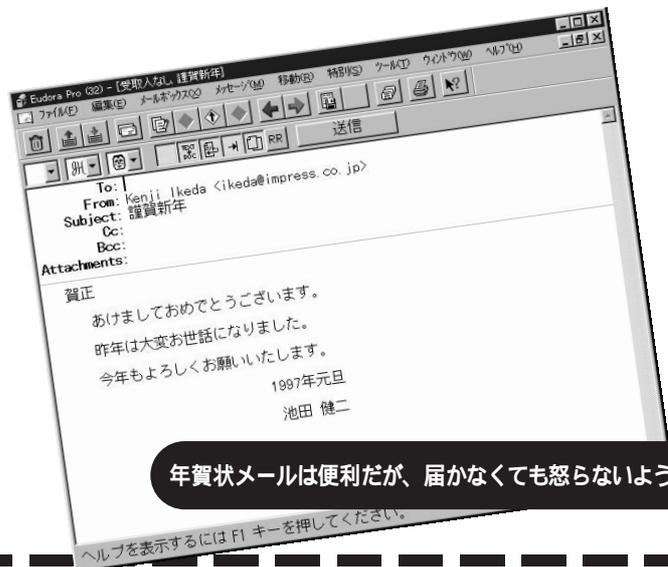
☞ メールが届かなくても笑って済ませよう

年賀状メールのほうも、1月1日の午前0時に発信し、瞬時に相手に届いてほしいところだが、何千本ものメールが午前0時に同時に送られた場合、受けるほうのメールサーバーはとて同時に処理できない。運がよければメールの到着が遅いだけだが、あまりに大量にメールが来るとシステムがダウンすることもあるだろう。

プロバイダーとしてもメールを完全に保証したいところだが、現在の技術水準ではディスクがクラッシュするとメールやログファイルも失われるため、ハッキリいって完全には保証できるはずもない。もちろん、私が管理しているインプレスのサーバーでも同様だ。

成長途中のインターネットなのだから、完全を求めてもしかたがない。年賀状メールがもし届かなくても、年末年始だけは笑って許してあげよう。

もし正月中に重要な商談のやり取りのメールを送る場合でも、なるべく人がアクセスしていない時間帯を見計らって出したほうがいい。そもそも、正月くらい、タマには休めよ!



年賀状メールは便利だが、届かなくても怒らないように

ヘルプを表示するにはF1キーを押してください。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp